

彦根市立東中学校

令和4年度
「わたしがやります！
学校CO₂ネットゼロ」
活動報告書

活動テーマ

自分ひとりから始める CO₂ バスタープロジェクト



取組の概要について

東中学校では CO₂ 削減に向けて取り組む仲間を「CO₂ バスターズ」として、全校生徒にプロジェクト募集を呼びかけた。この取組を始める前は節電や節水、リサイクルに意識が少なかった。しかし、委員会の例年のイベント活動にしていた古紙回収、日々の牛乳パックの水洗いが CO₂ の削減に大きく貢献していることを知った。取組を始めてからは、全校で節電に対する声かけが高まった。活動は大きなことではなく、継続性を重視し、「こまめな節電」「ペットボトルキャップ回収」「ゴミ拾い」などに取り組んだ。1 教室 1 時間の節電は、296g の CO₂ 削減になる。東中学校では 60 以上の教室が入れ替わり使われているため、消し忘れや無駄がないよう「気づいたら消灯」。これが「自分ひとりから始められる CO₂ 削減」につながることを確信した。

1 実践の概要について

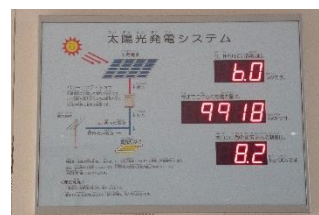
「温室効果ガスの削減」、「地球温暖化を解決」と口にすると、とても大きなことのように思える。最初生徒会本部の中では、意見が出にくい状況が続いた。そこで今回のテーマに掲げた「自分ひとりから始められること」を糸口に考え始めると多くの意見が出た。そこで、東中で CO₂ 削減に向けて取り組む仲間を「CO₂ バスターズ」として、全校生徒にプロジェクト募集を呼びかけることにした。

募集用紙では、滋賀県で「しが CO₂ ネットゼロ」に取り組まれていること、地産地消、森林保全、食品ロスなどが、CO₂ 削減につながることを伝えた。そしてプロジェクトの募集に全校で 700 通近くの応募をいただくことができた。それには先生方の協力と、何よりも本当にたくさんの人が「CO₂ の問題をどうにかしたい」と考えていることが分かった。

2 CO₂ ネットゼロに向けた活動を

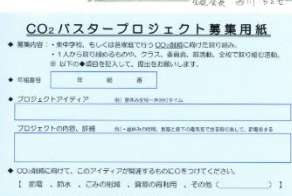
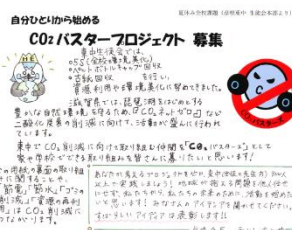
始める前と後の意識の変化

今回の活動以前に、東中学校で行っていた多くの取組が CO₂ 削減につながっていたことが改めて分かった。

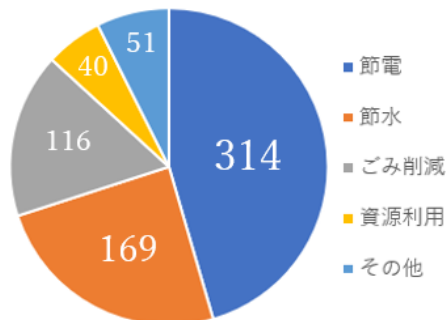


例えば、「太陽光発電」、「古紙回収(環境委員で紙を燃えるゴミに捨てるのではなく、教室に設置されたカゴに入れ、資源として利用する取組)」や「廊下電灯の節電(日中明るい場合は全消灯、暗い場合は半分消灯)」、「移動教室時の日直当番による施錠・電灯確認」、「牛乳パックを洗う(リサイクル)」などが挙げられる。よって、新たな取組とともに、これまでの活動がどれ程の CO₂ の削減を生んでいたか、ということにも注目することにした。

活動後、移動教室時に級友に向けて、「忘れないうちに、電気切っとくわ。」と声が聞こえ



た。先生方からは3学期になって、「空き教室の電気がつきっぱなしの頻度が減った」とコメントする学年もあった。一人ひとりの意識が節電、CO₂削減につながっていると感じた。



CO₂削減プロジェクト
アイディア関連項目集計グラフ

③ 計画と実践の工夫

各委員会でこれまで行っていた活動、今年度計画されていた活動は大切にしつつ、新たにCO₂削減に向けて取り組み始められることを協議した。透明なゴミ箱の設置(数が限られたため、今年は支援学級のみ)、ゴミ拾い(環境委員)、ペットボトルキャップ集め(学級委員)が挙げた。大きなことをやりたい気持ちがあったが、11月から3月の活動予定は決定していたため、小さなことから負担なく始められることを優先した。活動後に、それぞれの活動がどの程のCO₂削減効果があったのか、生徒会本部で検証した。

④ 取組の成果と課題



取組①～④における活動写真

① 透明なゴミ箱の設置

透明であることで、中身が見えることにより、周りの目を気にして、分別の意識が高まった。あるクラスでは、「マスクごみがプラごみによく捨てられていたが、燃えるゴミだけに入るようになった」との声があった。

② ペットボトルキャップ集め

1年を通して定期的に集め、合計1万個を超える回収ができた。これをゴミではなく資源にかえることができた。

③ ゴミ拾い

電池、たばこ、缶類のゴミが多かった。参加者からは「拾う立場になってみると、絶対ポイ捨てしない。全員やるべき。」との声があり、今後検討したいと思う。

④ 節電によるCO₂削減効果(一部紹介)

- ・教室の電灯 640W、1時間消灯
→1教室あたり 296g の削減
- ・学年廊下の電灯 1344W、8時間半灯
→2484g の削減
- ・暖房冷房器具に関して感染予防のため、換気を十分に行う必要があり、削減目標が立てづらかった。

⑤ CO₂ ネットゼロ活動の今後の展開

CO₂ バスタープロジェクト募集では、各家庭で取り組めることから、中学校で行いたいものまで、幅広くアイデアを収集することができた。節電、節水の意見が多くを占めていたが、その他にも「植物を育てて、自然豊かにCO₂削減」など多岐にわたった。今回すぐに活動実施に取り組めたことは限られた内容であったが、来年度4月からの活動では各委員会に積極的にCO₂削減活動をお願いする予定である。

またこの活動が学校だけでなく、各家庭の節電や節水のアイデアや意識としてつながっていくことを期待している。

学校名	彦根市立東中学校
住所	彦根市芹川町443番地
電話番号	0749-22-1006
E-mail	higashi@mx.hikone.ed.jp

